

第五回 香川福祉ふれあいまつり

文化厚生委員会 持田 栄

発行者  
 香川自治会広報委員会  
 香川の人口 11,690名  
 男性 5,845名  
 女性 5,845名  
 世帯数 4,143戸  
 (2003.8.1現在)  
 印刷所(有)スエカネ印刷

- ・アイスを千二百個用意したが不足した。
- ・万燈みこしの担ぎ手が少なく、声をかけてほしい。
- ・ステージの活用をもう少し増やしてはどうか。
- ・子どもみこしの担ぎ手をもつとフリーにしてはどうか。
- ・トイレの中が暗い。照明を付けてはどうか。
- ・駐輪場に照明を…。

反省点

本年も前年にも増して賑やかで楽しい二日間でした。今年は梅雨が長く続いたが、当日は幸いにも好天に恵まれました。第一日目は茅ヶ崎花火大会とぶつかり人出が懸念されましたが来場者は総体的に一三〇〇人を超えて、模擬店も活気にあふれ大変良かつたと思います。昨年に続き実施した「似顔絵書き」は評判が良かつた様です。又「イベント」を盛り上げる「ステージ」は有効に利用され、特に和太鼓は大変好評で来年もと言う声も多數聞かれました。

様並びに残暑の中組立にご協力頂いた皆様には感謝申し上げます。年々盛り上がるおまつりが、楽しいふれあいの場となる様来年も、すばらしい「イベント」を企画する事を願っています。

最後に会員の皆様を始め、自衛隊員・各団体・模擬店の皆様には大変ご協力、ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

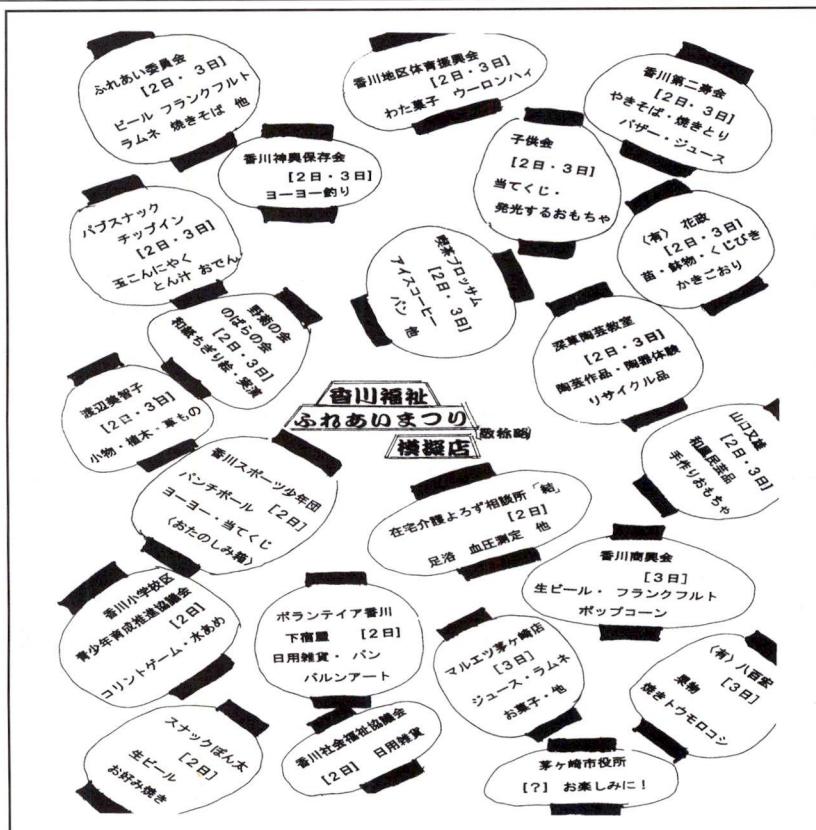
- ・舞台と櫓の位置が重なつていた。
- ・踊りの輪と周辺の足元をもう少し平にして欲しい。
- ・子供会のゲーム時間を作り出したい。
- ・ステージ前面の照明を提灯にしないか。
- ・



## ゲーム



盆踊り



## 楽しいアイス



万燈みこし

湘北地区の社会福祉協議会では、安心して暮らせる地域を目指して、湘北地区に福祉の連絡所を作り地域の助け合い制度を発足させる準備をしています。

『ボランティア活動の対象者』

きれいに設備された

香川駐輪場

日頃香川に住んでいる住民の左  
々、香川駅前の駐輪場がきれいに  
整備されているのに気がついてい  
らっしゃいませんでしようか？

市がシルバー人材センターに整備して頂く人を依頼して六月から実施されています。以前までは、自転車の倒れているのがあちこち乱っていましたが、きちんと整備されていると気持のいいものです。一人一人が気をつけて利用して頂ければ香川の町も輝いて見える町になるのではないでしようか?



香川駐輪場

お問い合わせは各地域の社会福  
祉協議会 委員まで

|        |         |
|--------|---------|
| 中村 五初男 | 52-2555 |
| 長谷川泉太郎 | 52-2097 |

『活動の内容』

- ◇掃除、洗濯の援助
- ◇買い物の代行
- ◇水道パッキン、電球の取り替え
- ◇家具の移動
- ◇ゴミ出し代行
- ◇その他

The map shows the location of the Kanbara Area Voluntary Center (湘北地区ボランティアセンター) at the intersection of the Shonan Expressway (新湘南側道) and the Hachibonbashi (八百橋). Key landmarks include the Maruzen & Noshima store (マルエツ & ノジマ), the Park (原公園), the Church (文教堂), and the Tsurumai-cho Office (鶴が台中交番). Arrows indicate the direction to the center from various points.

### 問い合わせ先

湘北地区ボランティアセンター  
茅ヶ崎市香川一丁目2-28  
三和ハイム  
電話 (27) 2030





## 『みんなの声』 香川と私 青山淳子

初めて香川に降り立った時、ボツンと屋根のある改札口が有り、そこを出ると線路の前は、青々と柔らかそうな草つ原が広がり、牛が二、三頭草を食んでいた。

東京の近くと言うので、期待半分、不安半分で故郷を出てきた私は、本当に驚いた。でも子供達は、近くに流れる小川（農業用水路）でザリガニを取つたり、ホタルを見たりと、だんだん元気になつていつた。もう三〇年余り過ぎた今もある頃が懐かしい。

引つ越して一年も経たぬ内に、主人は胃潰瘍で入院。やつと退院が決まるや、青函新幹線局勤務となり、考えた末、「通学にも環境

にも子供達には良い所だと思ふ」と言う事で、主人は北海道から新潟へ——と単身赴任を続けた。それでも御近所や、PTAで知り合つた友達等、頼りになる方達にそこを出ると親切にして頂いた。恵まれ本当に親切にして頂いた。

永年住んで、気の短い私は香川の人は、土地柄か気が長いと思つていていたが、香川の歴史を知り、無理に事を起こさず、世の中の流れにともない、町が大きくなつてゐるのを見ると、それだからホッとする様な住み易さがあるのだろうか、と思う様になつた。

その香川にも近代化の波は自ずと便利さとは裏腹に、治安の維持

と言つた。ご年輩の方なら一度は挑戦されたことがあつたのでは

とも考えられる。

「虫たちはどこへ行くのか」という本が出版された。香川公民館の職員である岸一弘氏が著者である。市職員としての仕事の傍ら十数年のフィールドワークを行い南から北に移動する昆虫たちの発見や、その詳細な記録を元に本にした労作である。子供にも読めるよう解り易く書かれている。「虫たちはどこへ行くのか」岸一弘・著（ボ

川で捕獲されたり、三陸から北方

に沿岸や、多くは山合の湖に棲息するワカサギが茅ヶ崎市内の小

川で捕獲されている。この現象は

今年の夏はいつ梅雨が明けたか

もはつきりしない異常気候で、冷

夏と言われば、稻作にも影響がで

いるようだ。ヨーロッパでは異常

高温が続いたり世界各地が異常気

象に見舞われている。これも地球

温暖化に向かつている現象ではないかと言われている。この温暖化現象と思われる現象が私たち身近な自然界にも起きている。南に

棲息していたチヨウなど昆虫たちが神奈川県で発見され、その後、関東地方各地で発見されている。

又、水中に棲息する生き物にもこの現象がある。南の地方、或いは伊豆より西に棲息すると言われて

か、念入りに調べてみたのだが、

これと言う間違ひは見つからない。

仕方なく近所のラジオ屋（当時家電店をこう呼んでいた）に行き、おやじさんに鳴らないのだけど何とかしてくれと頼み込んだが、自

か、念入りに調べてみたのだが、

これと言う間違ひは見